



長門の話題

Topics

市内保育園、小・中学校で入園式・入学式 元気に遊び、学び、育って

4月5日(土)、長門市内の保育園で入園式が行われました。このうち、みのり保育園では、141人の園児が入園しました。入園式では、藤本英子園長が「友達や先生と元氣いっぱい遊びましょう」とあいさつをし、園児全員で歌を歌って交流を深めました。また、8日(火)には、市内各



▲クラスごとに記念写真(みのり保育園)

▼新入生一人ひとり名前が呼ばれる(神田小学校)



小・中学校で入学式が行われました。4人が入学した神田小学校の入学式では、6年生の奥田諒太くんが「一緒に楽しい思い出をつくりましょう」と歓迎のことばを贈りました。市内では、この春保育園に678人、小学校に230人、中学校に261人が入園・入学しました。

大切に、有効活用します 新社屋完成を記念して車いすを寄贈

4月2日(水)、福農産業株式会社から長門市に対して車いす5台が寄贈されました。同社は国の道路計画により、深川湯本にあった営業所が三隅下に移転。このたび新社屋が完成し、その竣工を記念して車いすを長門市に寄贈したものです。



▼車いすを贈った竹内良一代表取締役社長(左) 福農産業株式会社代表取締役社長(右)

災害時における応急対策業務に関する協定 素早い対応で市民を守る

3月25日(火)、長門市役所で災害時における応急対策業務に関する協定調印式が行われました。これは、地震や風水害などの災害発生時に長門市土木協同組合が所有する資機材や労力を市に提供し、応急対策業務を円滑に行うために協定を締結したものです。

▼大西市長と植中雅史理事長(右)



村田雅弘副市長が退任 長門市への貢献に感謝

3月31日(月)、村田雅弘副市長の退任式が行われました。村田副市長は、平成24年4月に就任し、県との連携強化や成長戦略検討会議の本部長として手腕を発揮しました。退任式では、大西市長が、「長門市に対して多大なる貢献をいただき、感謝していま

す」とあいさつ。これに対し村田副市長は、退任にあたり「県に戻っても、私にできる支援をしていきたいと思えます。お世話になりました」とお礼を述べました。そして、職員から花束が贈られ、多くの職員に見送られる中、市役所を後にしました。

ウォーキングで健康づくり 思い思いのペースで歩く

4月10日(木)、長門市中央公民館から出発する「ウォーキングで健康づくり」が行われ49人が参加しました。今回のコースは、深川川河川の観月橋を折り返す約4キロ。参加者は、会話を弾ませながら楽しそうに歩いていました。

▼次々と出発する参加者



恒例の「湯本温泉まつり」 温泉がわき続くことを祈り

4月6日(日)、湯本温泉街で、恒例の「湯本温泉まつり」が開催されました。湯本温泉は住吉大明神からのおつげによって発見されたといわれており、その住吉の神をまつる住吉神社から子どもみこしがスタート、温泉街を練り歩きました。また、11

時からは住吉神社で神事が行われ、旅館関係者や行政関係者などが参拝を行いました。この日はあいにくの天候で冷え込み、うどんや地元の人たちが作ったごった煮、湯本温泉旅館の女将が販売したぜんざいなど、温かい食べ物人気を集めていました。

▼元気に温泉街を子どもみこしが練り歩く



東日本大震災被災地への支援状況について

主な支援活動の状況

■募金(3月31日現在)

- ◆日本赤十字社山口県支部 長門市地区(市福祉課) 21,432,035円
- ◆山口県共同募金会長門支会(市社会福祉協議会) 5,347,049円

共同募金会の義援金募集

は、平成26年3月31日をもって終了しました。日本赤十字社は、平成26年4月1日以降も引き続き義援金の受付を行い、岩手県、宮城県、福島県、茨城県の被災者を支援します。今後とも温かいご支援をお願いします。

お問い合わせ 福祉課福祉係 Tel.23・1157

長門のPeople



福田 嘉弘 ふくだ よしひろ

昭和15年11月2日生まれ、東深川藤中区在住。第2次長門市健康増進計画に基づき、平成25年4月から開催されている「ウォーキングで健康づくり」に昨年11月から参加を始める。今月15日(木)にふれあいパーク三隅で行われる「ウォーキングで健康づくり」に参加予定。7回連続の参加となる。現在73歳。「ウォーキングで健康づくり」は、健康に関心を持つ、中高年層に人気を集め、11回の開催で延べ380人が参加している。

「身心一如」
退職後始めた弓道で出会った福田さんにとって大切な言葉です。弓道には、心の強さ、精神力が重要です。その心を鍛えるためには、体力がなくてはなりません。
ふと立ち寄った長門市中央公民館で見つけた「ウォーキングで健康づくり」のチラシ。運動不足を感じ、もっと多くの人と接したいと考えていた矢先の出会いだったこともあり、すぐに参加を決意しました。
初めてのウォーキングに参加した後、自宅に帰って一息つくると、心地よい疲労感の中に心晴れる爽快感があふれてきました。
それからは、毎月のように参加を続け、次第に顔見知りが増えました。また、家からみずぎ公園まで月に一度歩くなど、運動する機会も増えてきました。
「何事にも自分に負けない、くじけない」ことが続けていく秘訣だと話し、身体をウォーキングで、心を弓道で鍛えています。
「健康で長生きがしたい」
その目標に向かって、多くの仲間とこれからも続く長い道のりを楽しんで歩いていきます。



▲一人ひとりがバケツの中のアユの稚魚を放流

三隅川鮎放流2014 きれいな川で大きくなって

4月12日(土)、三隅川河川公園「清流」で三隅川鮎放流2014が開催されました。これは、三隅川にアユやホタルなどのいきものがいつまでも元気に安心して育つ美しい川であることを願って、三隅地域環境パートナーシップ会議の主催で行われました。

この日アユを放流したのは、三隅保育園、宗頭幼稚園の園児や市内の小学生61人です。園児らは体長約7cmに育ったアユの稚魚が入ったバケツを受け取り、大きく元気に育つことを願って約2,000匹を放流しました。

長門市子ども会育成連絡協議会表彰 がんばる子どもたちを表彰

3月21日(金)、長門市子ども会育成連絡協議会の表彰式が行われました。これは、同協議会が環境美化運動に特に業績があった子ども会を表彰するもので、今年、門前子ども会と湯免子ども会が表彰を受けました。明倫小学校6年の岡田侑也

くんは、「住んでいるところがきれいななればと思っただけで頑張りました。今日はありがとうございました」とお礼を述べました。また、文化財愛護・伝承活動補助金の交付も行われ、通地区子供会、下郷子ども会に補助金が手渡されました。

▼表彰式のあと全員で記念写真



みずぎ通りに新たな楽しみ

金子みずぎ記念館11周年とギャラリー開設を祝う



▲新しい仙崎の魅力となる仙崎まちなか金子みずぎギャラリー

4月11日(金)、開館から11周年となった金子みずぎ記念館で、入館者に記念入館券が配布されました。この券は、金子みずぎの詩「極楽寺」と尾崎眞吾氏によるイラストが印刷されたもので、3,000枚が配布されました。

また、尾崎眞吾氏のイラスト画と金子みずぎの詩がコラボしたパネルがみずぎ通りの20カ所に展示されました。これは、「仙崎まちなか金子みずぎギャラリー」として設置されたもので、仙崎を訪れる観光客に新しい楽しみが増えました。